

教科・領域【家庭】 科目【家庭総合】

学科・コース	インテリア科・電子機械科・情報技術科	学年	第3学年	単位数	2単位
--------	--------------------	----	------	-----	-----

1 学習内容と学習到達目標

1. 家族や生活の営みを人の一生とかかわりの中で総合的に捉えると共に充実向上を目指す意欲的態度を育てる。
2. 学習した知識や技術を実生活に生かし、生活課題をより良く解決していく能力や実践的態度を身につけさせる。
3. 男女が協力して家庭や地域の生活を創造し、充実向上を目指す積極的態度を養う。

2 使用する主な教材等

- (1) 使用教科書（実教出版「303」家庭総合）
- (2) 配布資料プリント

3 年間の学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考	考查範囲
一 学 期	オリエンテーション 1編 人とかかわって生きる 2章 子どもとかかわる 1 子どもを知る 2 発達のすばらしさ 3 子どもの生活 4 親になることを考えよう 5 すこやかに育つ環境	4 5 6	・家庭科を学ぶ意義を確認する。 ・子どもの誕生や命の尊さ、母性と父性の保護と性意識について考える。 ・母体の健康管理と青年期の健康を理解する。 ・子どもの心身の発達の特徴について、家庭や地域の生活とかかわりの中から考える。	・保健(妊娠と出産)との関連性を図る。 ・保健部性教育講演会、薬物乱用防止教室等を視野に。 ・ビデオ教材を活用し、関心を高める。 ・遊具製作。	一 学 期 期 末 考 査
	2編 生活をつくる 2章 衣生活をつくる 1 人と衣服のかかわり 2 衣服の機能 3 衣服の素材を見てみよう 7 衣服をつくろう	7	・親の役割と人間形成について、段階を追って理解する。家族とかかわり方についても考える。 ・子どもの福祉と共に、少子社会における子どもを取り巻く環境の変化や課題について考える。また、子どもたちを支える親や社会の果たす役割について認識する。 ・衣服の機能の観点から「着装」の目的を理解する。 ・衣服材料への関心を高め、着装と衣服の働きの関連性を学ぶ。・衣服に要求される品質と被服材料の性能について理解する。 ・主体的に衣服を選んだり、管理したりする計画性や自立を図る。 ・被服製作の基礎を理解し、縫製の基礎技術を習得する。	・性能実験を通して衣服材料の特徴を理解する。	
	○ホームプロジェクト計画			・夏休み課題	
《課題・提出物等》 学習プリント、実習レポート、遊具作品、視聴覚教材視聴の感想					
《1学期の学習状況の評価方法》 提出物とその内容、小テストや定期考査の取り組み、授業態度					

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考	考查範囲			
二 学 期	○ホームプロジェクトの発表 7 衣服をつくろう 4 衣生活の管理 5 衣生活と資源・環境 6 すべての人が快適な衣生活を	9 10 11	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的衣服の製作に取り組むと同時に作品の完成を目指す。 ・必要な縫製技術を習得する。 ・衣類の手入れの仕方や保管方法を学び、計画的な衣生活の自立を図る。 ・資源の保全を意識して、再生利用を基本とした衣生活を進める力をつける。 ・自分の衣生活観・着装観を学習と重ね合わせて、これからの行動に役立てる。 ・消費者として経済生活の家計の特徴を「一人で暮らす」と「家族で暮らす」から考える。 ・消費生活の変化に対応し、自立した生活を営むための生涯設計に基づいた経済計画について関心と理解を深める。 ・資源や環境問題に配慮した生活を考え、実生活の中で実践する方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーフパンツの製作 ・ビデオ教材の活用で関心を高める。 ・環境問題については他教科の学習内容と結ぶ。 	二 学 期 末 考 査			
	3編 消費者として自立する 1章 消費行動を考える 1 消費行動と意思決定 2 社会の変化と消費生活 3 消費者の権利と責任 4 持続可能な社会環境	12						
	《課題・提出物等》 ホームプロジェクト、学習プリント、被服製作実習記録プリント、被服製作作品、視聴覚教材視聴の感想							
	《2学期の学習状況の評価方法》 提出物とその内容、小テストや定期考査の取り組み 授業・実習への意欲や態度、技術の習得度、作品等の完成状況							
三 学 期	2章 経済的に自立する 1 経済のしくみを知る 2 ライフステージと経済計画	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の生き方やライフステージを設計することや長期経済計画の目的や必要性を生涯を通して、また社会との関わりから考える。 		卒 業 考 査			
《課題・提出物等》 学習プリント、視聴覚教材視聴の感想								
《3学期の学習状況の評価方法》 提出物とその内容、小テストや定期考査の取り組み、授業・実習への意欲や態度 1～3学期を通して、授業・実習への取り組み状況から意欲と関心など総合的に評価する。								
《年間の学習状況の評価方法》 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域の人々との関わり方を学び、生活課題学習への取り組みや創造力を高め、生活を充実向上させていく能力が高められたか、レポートなどから判断する。 ・知識や技術を自分のものとして習得したかを実技や定期考査で確認する。 ・1～3学期を通して、授業・実習への取り組み状況から意欲と関心など総合的に評価する。 								